



SAPPORO

治療と仕事の両立支援 経営トップによる基本方針

企業名 サッポロビール株式会社
所在地 東京都渋谷区
業種 食品製造業
労働者数 2,426人(2018年末時点サッポロホールディングス社含む正社員)
創業 1876年創業

<企業概要>

サッポロビールは、お酒を製造・販売する事業を通して、お客様に「楽しさ」を提供し、豊かで潤いのある生活に貢献することを目指しています。

創業以来の開拓者精神を受け継ぎ、140年以上にわたる歴史の中で『モノ造り』にこだわり、「サッポロ生ビール黒ラベル」「エビスビール」という2つのブランドを、お客様と共に育てまいりました。

原料となるビール大麦とホップの自社内育種や、当社のフィールドマンが畑から生産者と一緒に取り組む「協働契約栽培」等、世界に誇る当社独自の取り組みを行い、おいしさと安全・安心の質を磨き続けています。

また、「サッポロビール博物館」や「エビスビール記念館」、並びに「日本ビール検定」等により、日本のビール文化の醸成に努めています。



サッポロビール株式会社
代表取締役社長
高島 英也

<経営トップの基本方針>

サッポロビールは、企業活動の大前提に『健康と安全が第一』を掲げ、全社員がそのための具体的な行動を起こすことを推進し、その行動の積み重ねがお客様にとっての価値向上につながるができるよう、行動の質を高め続けることを「健幸創造宣言」の中で掲げています。

この宣言を踏まえ、加えて多用な人財を認め活かすダイバーシティ推進の観点からも、治療と仕事の両立支援を重要な取り組みと位置づけています。

サッポロビールは、病気を罹患、経験した社員の思いを大切に、働きやすい制度と対話により、会社の強さにつなげます。

<両立支援に係る具体的な活動内容>

- 1 予 防：健保組合が実施する生活習慣病健診（がん検診相当の項目含む）に会社からも費用を一部補助し、就業時間中に受診可能な制度とした上、会社側からも積極的に受診勧奨を実施している。
- 2 組織体制：全国事業場に産業医・保健師を配置しており、健康面での相談がしやすい体制を整えている。
- 3 制 度：失効した有給休暇を治療等に充当できる積立休暇に加え、働き方改革の中で時間有休・スーパーフレックス・テレワークを導入し、柔軟な働き方が可能な体制を整えている。また、新たに治療短時間勤務制度も導入した。
- 4 社内理解促進
 - ①「治療と就労の両立支援マニュアル」を作成し、社内イントラに掲載することで、病気を罹患した社員や上司が治療と就労の両立に当たり必要な情報をいつでも閲覧できるような環境を整備している。
 - ②がんアライ宣言を策定し、2年連続で「がんアライアワード」の「ゴールド」を受賞。宣言内容を社内外に周知している。
- 5 相互支援：ダイバーシティや健康経営をさらに推進すべく、がん経験者の社内コミュニティ「Can Stars」を発足した。